From LIBRARY 扶桑町図書館 ☎(93)8630　開館時間　午前10時～午後6時

読めば元気になれるお仕事小説

「戦うハニー」 新野　剛志／著

私立保育園「みつばち園」で保育士として働き始めた星野親。そこは事情を抱えた子どもたちが多く集まる園だった。星野は体当たりで子どもたちやその家族と向き合うが…。『小説野性時代』掲載を書籍化。

著者の新野剛志氏は１９６５年東京生まれ。立教大学社会学部卒業。旅行会社勤務を経て、「八月のマルクス」で第４５回江戸川乱歩賞を受賞。ほかの著書に「あぽやん」「キングダム」等がある。

「総選挙ホテル」 桂　望実／著

中堅ホテルに着任した新社長が、業績打開のために打ち出した案は“従業員総選挙”。従業員たちの不満や混乱の中、強行された人材シャッフル。はたしてホテルの行方は？明るく元気になれるお仕事小説。

著者の桂望実氏は１９６５年東京生まれ。大妻女子大学卒業。「死日記」で「作家への道！」優秀賞を受賞。ほかの著書に「県庁の星」「嫌な女」等がある。

「スクープのたまご」 大崎　梢／著

『週刊千石』に異動した新人女子部員・信田日向子が、恐る恐るタレントのスキャンダルや事件取材に奮闘！リアリティ満載・感動のお仕事小説。『つんどく！』『別冊文藝春秋』掲載を単行本化。

著者の大崎梢氏は東京生まれ。元書店員。２００６年「配達あかずきん」で作家デビュー。ほかの著書に「空色の小鳥」「誰にも探せない」等がある。

４月の催しもの

と　き		催しもの
２日（日）	・午前11時～ ・午後２時～	子どもビデオ劇場
23日（日）	・午前11時～ ・午後２時～	絵本とあそぼう
30日（日）	・午前11時～ ・午後３時～	図書館たんけん教室
毎週月曜日	・午前11時～	あかちゃん絵本よみきかせ会
毎週木曜日	・午前10時～午後０時30分	あかちゃんクラブラッコルーム
毎週土曜日	・午前11時～	「おはなし」と「あそび」の広場

その他の仕事小説の本

◆「声のお仕事」　川端　裕人／著

◆「幸せ嫌い」　平　安寿子／著

◆「遊園地に行こう！」　真保　裕一／著

◆「陸王」　池井戸　潤／著

◆「校閲ガール　トルネード」　宮木　あや子／著

◆「上流階級２～富久丸百貨店外商部～」　高殿　円／著

◆「あしたの君へ」　柚月　裕子／著

俳句

ふそう俳句会

「繭団子」

繭団子くぼみは母の指のあと　佐橋　美智

姉様の嫁がれし日の春蚕かな　千田　一到

うす紅のしだれ桜に絹の雨　森　頌子

川柳

扶桑川柳クラブ

ごめんねと頭下げれば済む話　前本たかし

お疲れも一緒に流す洗濯機　猪野　和子

サクラ咲く空に飛び交い幕が開く　玉田　博子

短歌

「曾孫の入園」　ふそう短歌会

這えば立て立てば歩めと守りこし
　曾孫の入園われの楽しみ　大薮美佐子

故郷は雪の中なり送り来し
　荷物の中身あたたかかりし　西村　静子

勤め続け定年近き歳の今
　亡母の支えの大きさを知る　酒井外美江

詩吟

「舟由良港に到る」　吉村寅太郎

首を回らせば　蒼茫たり浪速の城
篷窓　又聴く　杜鵑の声
丹心　一片　人知るや否や
家郷を夢みず　帝京を夢む

「意」　捕えられて土佐へ護送される身、今しも舟は淡路島の由良港に着いた。遥かにふり返って見れば大阪城がぼんやりかすんで見える。トマ舟の中で血を吐くようなほととぎすの声をきくのはやるせない。私の心は唯皇国の御代たらんことを思うのみ、この舟中で見る夢は故郷のことでなく皇城のある京の夢である。

正風流二代目家元　山内　正風